

# 行雲流水

No.290 令和5年4月20日発行

一人ひとりの「小さな積み上げ」がきれいに保つ秘訣だ

校長 寒河江 正人

生徒諸君。教職員の皆さん。

校内外の**清掃、環境美化**に励んでいただき、ありがとうございます。

**長岡教頭先生**は、誰よりも早く出勤し、校内を巡視しながら掃除機をかけてくれています。  
おかげで、今年度は、生徒昇降口や各階の足拭きマットが実にきれいになりました。

**小川技能士さん**は、職員玄関や生徒昇降口の掃き掃除をしてくれています。

さらに、本校の敷地内のゴミを一つひとつ丁寧に拾ってくれています。

おかげで、今年度は、玄関も校地内も、より一層きれいになりました。

お二人とも、**目立たないところでの働き**、本当にありがとうございます。

今年度、創立30周年の節目に、本校は「**清掃改革**」に取り組みます。

全校で行う清掃は、**月曜日と木曜日の週2回のみ**としました。

その改革のキーワードは、「**はやい・かんたん・きれい**」。

「**限られた短い時間で、作業内容をより明確にし、手際よく仕上げる**」。

取り組みのリーダーは、**清掃主任の茂木多鶴子先生**と**美化委員長の高橋夢愛さん**。

生徒諸君は、校内外を「**清掃分担区・合計50カ所**」に分けて担当しています。

その50カ所それぞれに**担当クラス・班**があり、**担当職員**が配置されています。

「清掃の回数が少ないから、校内外が汚くって。」なんて言うのは、無責任な言い訳です。

全校で清掃するのは、**たとえ週2回であっても、きれいに保つことは可能**です。

「**消しゴムの消しかすは、自分の分をまとめて、ゴミ箱に捨てよう。**」

「**ゴミが落ちていたら、進んで拾って、ゴミ箱に捨てよう。**」

「**トイレを使って汚したら、後に使う人のために、きれいにしてから出よう。**」

どれも、**小さなことだけど、毎日続けて、毎日積み上げると大きな成果を挙げる**のです。

本校の先生たちも、**自分がきれいに保つ担当場所**を決めて、取り組んでいます！

どの先生が、どこを担当しているか、裏面に紹介しておきます。**ぐんぐんきれいになるよ！**

**さあ、生徒諸君。みんなで、きれいな神町中学校で生活できるようにしましょう！！**